

シンポジウム ■ 助け合う地域社会づくりに向けて — 地域支えあい活動を増やそう・広げよう! —

日時 12月18日 日曜日 13:00～16:00
(12:30 受付開始)

場所 流通経済大学 松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸 3-2-1

定員 260名

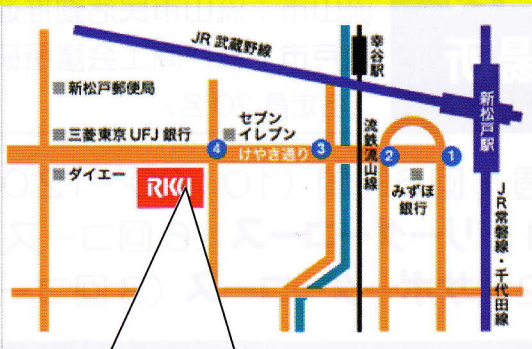
参加費
無料

■現在、日本ではひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯が増加しています。
地域の实情に応じて、高齢者、障害者など、地域社会とのつながりや支援が必要な人々を地域社会の中で支える活動の基盤を整備し、互助・共助の仕組みを構築すること、すなわち地域支え合いの態勢づくりが急務になってきています。

■東日本大震災においても、行政の支援が行き届かない中で、日常生活で支援の必要な人々はより厳しい状況に追い込まれました。地域での助け合い、支え合いののしくみがあれば、大規模災害等で行政支援の届かない中でも、生活を維持する最低限の状況の確保がより可能になると考えます。

■この「地域支え合い体制」には、自治体、住民組織、NPO、福祉サービス事業者等との協働が必要と言われています。そのような協働を前提としながらも、どの地域でも、支え合い活動を担う人材が不足している現状があります。

■そこで、実際に活動している地元のNPO団体と連携して、この課題を市民で共有し、状況を前に進める道を探るシンポジウムを企画しました。ぜひ、一緒に考えていきましょう。



流通経済大学 松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸 3-2-1



落合恵子 / 作家・東京家政大学特任教授。
1945年栃木県生まれ。執筆と並行して、東京青山、大阪江坂で子どもの本の専門店クレヨンハウス、女性の本の専門店ミス・クレヨンハウス、オーガニックレストランなどを主宰。総合育児雑誌「月刊クーヨン」発行人。
■最近の主な著書：「崖っぷちに立つあなたに」（岩波書店）「積極的その日暮らし」（朝日新聞社）「『孤独の力』を抱きしめて」（小学館）他、多数。
■東日本大震災では、被災地の子どもたちに絵本を送るプロジェクト「HUG&READ」を現在も継続中。

プログラム

- 第1部 ■ 基調講演**
落合恵子さん「いま、HUGの時」
- 第2部 ■ 事例報告**
片岡興一さん
(NPO 法人市民助け合いネット (流山市) 代表)
佐久間浩子さん
(NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど副代表)
- 第3部 ■ パネルディスカッション**
コーディネーター 田中尚輝
(公益社団法人長寿社会文化協会理事)

申込方法	必要事項を記入のうえ、FAX、郵送または電子メールにてお申し込みください。 1) お名前: 2) 性別: 3) 年齢: 4) 住所: 5) 電話:
申込締切	12月2日(金)
申込先・問合せ先	公益社団法人 長寿社会文化協会(WAC) 事業推進企画担当 茂野(しげの) 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1階 TEL: 03-5405-1501/FAX: 03-5405-1502/Email: shigeno@wac.or.jp

主催: 公益社団法人 長寿社会文化協会(WAC)
共催: NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど・NPO 法人市民助け合いネット
後援: 千葉県 松戸市 流山市 流通経済大学
※当シンポジウムは、千葉県地域支え合い体制づくり事業の補助金交付を受けています。